



2026 Spring

# 市議会だより

春

第129号

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

令和8年4月22日発行



東山湖のさんぽ道（議員記者撮影）

## CONTENTS

令和8年御殿場市議会新体制…………… 2  
 代表質問（5会派）…………… 3～5  
 一般質問（9人）…………… 5～9  
 3月定例会（議案の審議結果一覧）…………… 10

臨時会、意見書、視察報告…………… 11  
 議会報告会…………… 12  
 提言、6月定例会の予定…………… 13  
 交流事業、議長日記、編集後記…………… 14

## 御殿場市議会

Gotemba City Assembly

御殿場市議会

検索

## YouTube

令和8年3月定例会の一部動画を録画配信します。  
※動画閲覧には通信料がかかります



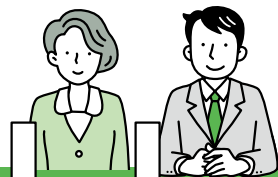
ご意見ご質問は  
議会事務局へ  
ふれあいボックス



令和  
8  
年

# 御殿場市議会新体制

2月に役職等の改選があり、正副議長、各委員会の正副委員長が決まりました。



## 常任委員会委員

「その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する」機関（地方自治法第109条）

### 総務委員会

企画戦略部、総務部、危機管理課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を所管

委員長 中島 宏明（至誠）  
副委員長 横山 大（至誠）  
委員 高木 理文（無党派）  
委員 阿久根 真一（改新）  
委員 池谷 晴一（無党派）  
委員 林 義浩（市民21）  
委員 神野 義孝（新風てんば）

### 経済環境委員会

環境市民部、産業スポーツ部、都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項を所管

委員長 勝又 正人（市民21）  
副委員長 後藤 真弥（新風てんば）  
委員 森 順（無党派）  
委員 菅沼 芳徳（改新）  
委員 勝間田 博文（公明党）  
委員 田代 耕一（至誠）  
委員 勝間田 幹也（至誠）

### 広報委員会

議会の広報に関する事項を所管

委員長 横山 大（至誠）  
副委員長 小林 恵美子（公明党）  
委員 高木 理文（無党派）  
委員 森 順（無党派）  
委員 永井 誠一（改新）  
委員 後藤 真弥（新風てんば）  
委員 小林 昌美（至誠）  
委員 辻川 公子（無党派）  
委員 池谷 晴一（無党派）  
委員 林 義浩（市民21）

### 予算決算委員会

予算及び決算に関する事項を所管

委員長 林 義浩（市民21）  
副委員長 阿久根 真一（改新）  
委員 ほか全議員

### 福祉文教委員会

健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項を所管

委員長 高村 芳章（改新）  
副委員長 小林 昌美（至誠）  
委員 永井 誠一（改新）  
委員 芹澤 勝徳（新風てんば）  
委員 辻川 公子（無党派）  
委員 川上 秀範（新風てんば）  
委員 小林 恵美子（公明党）

### 議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項及び議長の諮問に関する事項を調査し、議案、請願等を審査します。

委員長 田代 耕一（至誠）  
副委員長 阿久根 真一（改新）  
委員 小林 恵美子（公明党）  
委員 勝又 正人（市民21）  
委員 神野 義孝（新風てんば）

就任あいさつ



第75代 議長

川上 秀範  
（新風ごてんば）

議会は市民の皆さまの声を形にする重要な機関であります。日々の暮らしの課題やご意見を、ぜひ我々議員にお聞かせください。私自身40代と現役世代の議長として、中立公正な立場から皆さまの声を真摯に受け止め、円滑かつ凛とした議会運営にまい進します。先人が築いた議会改革を一層推進することをお約束し、議長就任の挨拶といたします。

就任あいさつ



第74代 副議長

林 義浩  
（市民21）

副議長に就任いたしました林義浩です。倫理法人会の教えにある「夫婦は一对の反射鏡」とおり、副議長として議長を鏡のように映し出し、一对となって支える「内助の功」に徹する覚悟です。議長を全力で補佐し円滑な議会運営と市政のさらなる発展にまい進いたします。市民の皆さまの温かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

※市役所情報公開コーナーでも、同時期から閲覧できます。

## 至誠

なかしま 中島 宏明 ひろあき



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

### 代表質問

## 市長2期目初年度の「令和8年度市長施政方針」などについて

**問** 1期目の成果分析と評価及び課題について

**答** さまざまな人口減少対策により年々人口減少も抑制されている。医療体制の充実を含む、それぞれの課題に対する施策を効果的に連携させて、「選ばれるまち」として本市のブランド力を更に強化していくことがこれからの課題である。

必要となる施策を盛り込み編成した予算である。

**問** 第五次総合計画策定初年度の施政方針を踏まえ、市長が想い描く「御殿場市のあるべき将来都市像」とその実行への覚悟について

**答** 将来都市像には「緑きらさらき、人いきいき、未来へつなぐ交流都市御殿場」を掲げている。全ての世代の市民が輝き、生きがいと幸せを実感できる「市民と共に歩む情のある御殿場」「御殿場らしい人づくり、まちづくり」を実現するため、確固たる決意と強いリーダーシップを持って市政を推進する。



2026年 元旦 御殿場市を望む

### 代表質問

## 市長施政方針について

## 新風ごてんば

じんの 神野 義孝 よしたか



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

**問** 市政の基本方針に込められた2期目の抱負と想いは。

**答** 情のある市民の皆さまと共に、情のあるまちづくりを行うことが御殿場らしい人づくり、まちづくりの本質である。2期目は1期目の種を成長させ、花を咲かせ実を刈り取る私が目指すまちづくりを実行に移す時である。

**答** 富士山の恵みを後世に受け継ぎ、未来へつなぐ、新たな御殿場ブランドが生まれる場であり、『オール御殿場』で取り組む地域一丸で作りに上げていくビッグプロジェクトである。



(仮称) 富士山の恵み産業パーク

**問** 観光における市内外の周遊促進施策は。

**答** 訪れた方が市内を巡り、交流し、滞在し、再び訪れる好循環を確立する。その中核を担うのが、(仮称)富士山の恵み産業パークである。

**問** 避難所に関する被災者支援は。

**答** 市民の命と暮らしを守ることに、市長としての最大の責務である。避難所生活などの被災後の備えでは災害関連死ゼロを目標に掲げ、避難環境の改善の取り組みを充実していく。

**問** (仮称)富士山の恵み産業パーク整備事業は。

**答** 医療体制充実のための医療従事者確保は。看護師などの確保は、返済免除付き修学資金の大幅な増額など経済的支援と御殿場看護学校への支援を強化する。医師の確保は、浜松医科大学に派遣を仰ぐと共に、若手医師の専門外来の充実など大病院とのネットワークを最大限生かす。



改新

菅沼 芳徳



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

代表質問

市長施政方針について

**問** 強固な財政基盤づくりと健全財政の維持について

**答** 市民が満足する行政サービスを提供するために「稼ぐ自治体」として市税収入、ふるさと納税といった自主財源の確保に全力を尽くして将来に渡る強固な財政基盤を構築する。

**問** ウェルビーイングの目指すものとSDGs推進事業との整合性について

**答** 本市は国の「SDGs未来都市」選定を受け産学官金が連携して「地域産業の持続的発展」、「デジタル・絆・文化が調和する持続可能な社会形成」、「環境先進都市への挑戦」などの取り組みを進めてきたが、より波及効果の高い先進的な取り組みにより市民の幸福度・満足度の向上を目指すウェルビーイングと一体的に推進していく。

**問** 新たな観光戦略と市民の快適性・安全性の維持向上について

**答** 単に観光客数の増加のみ求めるのではなく、滞在時間の延伸や観光消費額の向上など「質」を高める。観光と市民生活は対立でなく両立させるべく観光の流れを創出し、観光施設間の回遊を促し交通負荷の分散を図る。

**問** 企業誘致と持続可能な産業基盤の構築について

**答** 昨年「企業誘致推進ビジョン」を初策定したのは（仮称）「夏刈工業団地」の整備にかける市の強い思いであり、首都圏からの本社機能移転、新規進出はもとより市内既存工業団地からの事業拡大も可能になり大きな期待がもてる。



代表質問

人口減少対策の全体設計と令和8年度の舵取りについて

市民21

勝又 正人



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

**問** 観光戦略と関係人口の創出について伺う。

**答** 観光資源を体験するだけでなく、人との交流を通じて、御殿場市民の心温かさや地域に対する情熱を肌で感じることが、御殿場の奥深さに触れ、また御殿場に來たくなるという行動につながる。このような観光の好循環が、将来的に観光交流客数を関係人口へと発展させ、人口減少対策に大きく寄与するものと確信している。

**問** 世代循環を見据えた教育の在り方について伺う。

**答** 小学校5年生以上を対象としたアンケート調査では、小学生のおよそ7割、中学生のおよそ6割が「住み続けたいと思う」と回答した。一度進学などで御殿場から離れる状況となったとしても、その後、また戻って生活したいと思えるような郷土愛あふれる子どもたちが更に増えていくよう努める。

**問** 移住定住の基盤としての医療体制について伺う。

**答** 地域医療の要として救急医療などの公的な役割を担う病院が、持続的に質の高い医療を提供し続けられるよう、運営費補助金を大幅に拡充する。疲弊が指摘される医療現場に対し、市として力強く支え、その重責を共に担う姿勢を明確にすることで、市民の皆さまに安全・安心な医療を提供できるように務めていく。周産期医療については、将来的な新築移転も視野に入れ、持続可能な周産期医療を維持していく覚悟である。



質問の構成イメージ

※市役所情報公開コーナーでも、同時期から閲覧できます。

## 公明党

小林 恵美子



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

### 代表質問

## 令和8年度市長施政方針について

**問** 第1子保育料半額実施の目的と効果、保育士確保対策について伺う。

**答** 令和8年度から第1子保育料を半額とし、子育て家庭の経済的負担軽減を図る。今後は施策の検証を行いながら、第1子からの保育料完全無償化を目指す。また、保育士確保のため、民間保育所の求人活動や住宅手当を支援する市独自の補助制度を創設する。

**問** 災害時における女性の視点の反映とトイレトラック導入について伺う。

**答** 防災会議や自主防災組織への女性参画を進め、女性の視点を地域防災計画や避難所運営に反映していく。また、災害時の衛生環境確保のためトイレトラックを導入し、災害時だけでなくイベントなどでも活用しながら、市民への周知を図る。

**問** 大型プロジェクトの意義を伺う。

**答** 新図書館「ほんてらす」と富士山木のおもちゃ美術館は生涯学習や多世代交流の拠点として整備を進め、本年夏に開館予定である。また、富士山の恵み産業パークは農産物や特産品など御殿場の魅力を発信する拠点として整備を進め、産業振興や雇用創出につなげる。

**問** 令和8年度予算編成の考え方について伺う。

**答** 子育て支援や地域医療、観光投資を進めながら、メリハリある予算編成とした。健全財政を維持し、「今を育み、未来へ躍進する御殿場」の実現を目指す。



### 一般質問

## 体育館空調整備について

**問** 御殿場市体育館空調設置工事について

**答** 市体育館の空調整備は、熱中症対策や災害時の避難所機能強化の観点から不可欠と判断し、令和8年度末の完成を目標に整備を進める。工事は段階的に実施し、利用制限は最小限にとどめる。

**答** 空調整備は避難者の命と健康を守るために必要な設備であり、重要なインフラと位置付ける。要配慮者の負担軽減を図り、健康的で継続的な避難所生活が送れるよう対応する。

**問** 快適性の向上やイベント誘致にも効果が期待できる。使用料は受益者負担を基本としつつ、過度な負担とならないよう制度設計を検討する。

**問** 市内体育施設における空調整備の今後の方針について

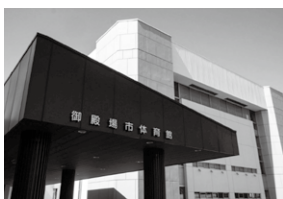
**答** 持続可能な財政運営を基本に、国の補助制度の活用やエネルギー効率の高い設備の導入、維持管理の効率化なども視野に入れ、小中学校体育館は令和8年度から整備に着手し、令和16年度までの完了を目指す。

**問** 小中学校体育館への空調設備導入の方向性について

**答** 市体育館の整備をモデルとし、各学校の優先度を明確化し、計画的に整備を進める。断熱改修と一体で実施し、より効果的な環境改善を図る。

**問** 災害時の避難所としての体育館の役割について

市長は「市内公共施設における体育施設の空調整備を重要施策と位置付け、市民の健康と安心を守る環境整備を強力に推進する。」と答弁した。



## 勝間田

幹也

至誠



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード



各議員のタイトル下にある二次元コードから代表質問、一般質問の録画映像にアクセスできます。※動画の再生には別途通信料がかかります。

代表質問

一般質問

定例会

臨時会

視察報告

議会報告会

提言

田代 耕一  
こういち

至誠



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

一般質問

本市におけるライドシェアの取組状況について

**問** 本市における調査・検討はどこまで進んでいるのか。

**答** タクシーの利用実態や時間帯別需要の把握を進め、駅施設へライブカメラを設置し、待ち時間や待機車両数を調べている。

**問** 今後の方向性及び導入に向けた課題と見通しを伺う。

**答** 令和8年度で行う交通空白地域の調査を基に、既存交通ではカバーしにくい時間帯や地域を、事業者・地域団体・市が共同で運行管理を行う仕組みを構築していく。

**問** 新潟県胎内市のように運転代行業者が主体となることは御殿場でも可能か。

**答** 運転代行業者が主体となる公共ライドシェアの導入は選択肢の一つとなる。

**問** 公共ライドシェアの導入をする場合、既存のタクシー業者との競争をどのように避けるのか。

**答** 需要と供給のバランスを的確に把握することが極めて重要であり、無制限な導入は想定していない。あくまで既存交通を「補完」することを原則として制度設計していく。

**問** ライドシェアの導入について市長の方針と今後の展望について伺う。

**答** 単なる新しい交通手段ではなく、市民の暮らしを支える交通基盤として位置付け、市民生活の安心と観光都市御殿場の発展を両立させた、御殿場らしいライドシェアを構築していきたい。



小林 昌美  
まさみ

至誠



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

一般質問

市道0117号線道路整備事業について

**問** 第一工区当初計画では令和4年度完成予定が、令和10年度へ延期となった理由は。

**答** 想定していた以上に地形条件が厳しく、軟弱地盤の分布確認など、地盤特性が設計段階の想定と異なる状況が判明したため、延期となった。

**問** 第二工区事業費の財源内訳について

**答** 総事業費は20億円であり国の交付金を除いた地方負担分は御殿場市が65%、裾野市が35%の割合で負担する。現在、事業費の増額は予定していない。

**問** 第二工区の総事業費は。

**答** 現時点で約15億円を見込んでいる。国からの交付金55%を充当し、地方負担分は御殿場市が65%、裾野市が35%の割合で負担する。

**問** 第二工区完成予定は。

**答** 令和19年度の完成を目標として着実に事業を推進していく。

**問** 市長の思いについて

**答** 街の活性化を図っていくために大事なことは、まちづくりの根幹ともいえる道路基盤をしっかりと整備すること。神山深良線広域基幹道路は、それぞれの自治体にとっても、基盤となる重要な道路となる。富士岡地区にとつて、今後の街の活性化を図っていくための根幹の道路となる事を期待する。



神山深良線第1工区

※市役所情報公開コーナーでも、同時期から閲覧できます。

## 一般質問

森

順 じゅん

無会派  
参政党



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

### 家庭での育児を選択する世帯への支援について

**問** 在宅育児家庭の実態把握について

**答** 令和7年4月1日現在の住民基本台帳に基づく各年齢の人口と保育所や認定こども園などの利用者数を基に推計すると、0歳児が396人、1歳児が193人、2歳児が181人となっている。

**問** 在宅育児家庭が経済的負担や育児不安などを抱えやすい状況にあるとの一般的な指摘に対する本市の見解について

**答** 在宅育児家庭の状況は、各家庭の就労状況や環境によって大きく異なるが、さまざまな家庭が存在する中で、在宅育児をしている家庭が必ずしも経済的な負担や育児不安を抱えやすいとは考えていない。

**問** 全国に在宅育児家庭への経済的支援を行っている自治体があることを把握しているか否か

かについて

**答** 在宅育児家庭への経済的支援は、支給対象や支給金額、また、支給条件など制度設計に違いがあるものの、在宅で子育てを行う世帯に対し支援を実施している自治体が、全国でも一部にあることは把握している。

**問** 今後、在宅育児家庭の実態や他自治体の事例について調査・研究を行う考えはあるのかどうかについて

**答** 市民の保育ニーズにしっかりと応えるための保育施策を今後も充実させるべく、国の制度の動向や近隣市町の状況を注視しつつ、本市の実情に即した効果的な子育て支援施策を引き続き研究する。



## 一般質問

高村

芳章 よしあき

改新



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

### 介護保険制度における本市の訪問型の介護サービスの現状について

**問** 本市の介護サービスについて

**答** 「住み慣れた地域で、安心して、いきいき暮らせるまち」を基本理念として事業を展開している。医療・介護の専門職や利用者等からのご意見により事業内容を改善することで、本市の介護サービス事業は年々向上している。今後もサービスの質の向上を目指すとともに、必要とする利用者への安定した介護サービスの提供に努めていく。

**問** 本市の訪問型の介護サービスについて

**答** 訪問介護の利用者は、令和7年度のひと月の平均利用人数は496人、令和8年度は508人を見込んでおり、今後も増えていくと推測している。令和7年12月末現在、本市にある訪問介護事業所は11事業所、ヘルパーの人数は101人で、現状は利用者の希望におおむね対応できている。



る。介護サービスの需要の増加が見込まれる中、深刻な介護職の人材不足、ヘルパーの高齢化などの課題がある。ヘルパーが増えない主な理由は、賃金の低さや、一人での訪問による身体的・精神的な負担などである。介護職の増加を図るため研修費や受験費を補助したり、介護職の方が一人で悩まないよう研修会などで困難事例に対応したりしている。引き続き介護事業所への支援について検討し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できるよう関係機関と連携して取り組む。



後藤 真弥

新楓 ごとんぼ



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

一般質問

卒業式について

問 卒業式の位置付けについて

答 本市の小中学校は、卒業式を卒業証書授与式という名称で実施している。卒業証書の授与を卒業式のコアと位置付ける教育的意図を示しているものと理解している。卒業証書授与が法的要件となっている一方で、その実施方法は学校ごとに工夫し、地域の文化・特色を反映させることが求められている。

問 卒業式の今後について

答 学校行事の在り方は、形式や演出にこだわらず、儀式の本質に立ち返る動きがある。特に卒業式は、感染症対策で簡素化されたことで、大規模な練習や派手な演出ではなく、子どもたち自身の声や想いが感動につながることや多くの学校が実感している。厳粛さが再評価され、自然発生的な感動を重視するスタイルが浸透していくことが期待されている。子どもたちに特別な日の意義をしっかりと伝え、彼らの成長や今後の人生に豊かな経験を持たせていく。

問 卒業アルバムについて

答 写真選定は、主に児童生徒で構成されたアルバム編集

問 児童生徒の自主性の育みについて

答 教員は、子どもたちが自主性を発揮できる環境を整え、活動を後押しすることも求められている。サポーターとしての役割に徹することも重要である。

委員会が行っているため、子どもたちの意見が反映されているものと認識している。



永井 誠一

改新



YouTube  
モバイルサイト  
二次元コード

一般質問

不登校支援における現状と課題について

問 不登校児童生徒数の推移は。

答 不登校と呼ばれる年間30日以上欠席している児童生徒は、令和6年度で小学校126人、中学校143人で増加傾向であり、令和7年度においても数値を上回ることが予想される。

問 本市の不登校支援に対する教育長の見解は。

答 不登校児童生徒の増加は大きな社会問題と捉えており、子ども・保護者の双方を支える支援は必要不可欠と認識している。「誰一人取り残すことのない学びの充実」を理念に、民間・公設にこだわらず、子どもたちの学びを止めないことが大切である。教育委員会としては支援センターの相談体制の充実や校内支援センターの拡充、さまざまな機関・事業所との連携など、子どものセーフティネットをより幅広い、厚みのあるものにしていきたいと考えている。

問 民間フリースクール児童生徒の「出席扱い」の基準は。

答 文部科学省からの通知と同様に、当該施設の相談・指導の在り方や指導スタッフ、施設、学校・教育委員会・関係機関との連携などを基に、学校長が指導要録上、出席扱いとすることができるとしている。

問 全校への校内教育支援センター設置の見込みは。

答 令和8年度には、学校の余裕教室を活用した校内教育支援センターに常駐の支援員を配置するモデル事業を実施し、今後







議案書等資料についてはホームページに掲載しています

# 3月

# 定例会で決まったこと

## 議案の審議結果一覧

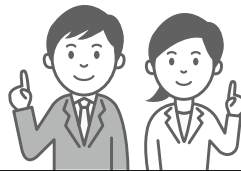
全会一致で可決等された議案	
予算	令和7年度御殿場市一般会計補正予算（第8号）について
	令和8年度御殿場市介護保険特別会計予算について
	令和8年度御殿場市上水道事業会計予算について
	令和8年度御殿場市工業用水道事業会計予算について
	令和8年度御殿場市簡易水道事業会計予算について
	令和8年度御殿場市農業集落排水事業会計予算について
	令和8年度御殿場市公設浄化槽事業会計予算について
条例	富士山木のおもちゃ美術館条例制定について
	御殿場市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例制定について
	御殿場市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市手数料条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
事件議決	富士御殿場工業団地開発事業地内の用地取得について ※高木理文議員、永井誠一議員、田代耕一議員、後藤真弥議員 除斥
	市道路線の認定について
	富士御殿場工業団地開発事業地内の用地処分について
同意	御殿場市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	御殿場市副市長の選任について
意見書	普通交付税不交付団体における財源充実に係る意見書の提出について
報告	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）

本会議で 賛否が分かれた議案等	議員名（議席順）																					
	高木 理文	森 順	阿久根 真一	永井 誠一	後藤 真弥	芹澤 勝徳	小林 昌美	横山 大	辻川 公子	池谷 晴一	菅沼 芳徳	高村 芳章	川上 秀範	中島 宏明	小林 恵美子	勝間田 博文	勝又 正人	林 義浩	神野 義孝	田代 耕一	勝間田 幹也	
○…賛成 ×…反対 ※議長（川上秀範）は採決に加わりません。																						
令和8年度御殿場市一般会計予算について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度御殿場市救急医療センター特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度御殿場市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度御殿場市公共下水道事業会計予算について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
御殿場市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について（議案第19号）	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について（議案第24号）	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
御殿場市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○

代表質問  
一般質問  
定例会  
臨時会  
視察報告  
議会報告会  
提言

# 臨時会で決まったこと

## 議案の審議結果一覧



1/15

### 令和8年 第1回 全会一致で可決等された議案

予算	令和7年度御殿場市一般会計補正予算（第6号）について
同意	御殿場市表彰受賞者の同意について
報告	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）

2/16

### 第2回 全会一致で可決等された議案

条例	御殿場市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
同意	御殿場市監査委員の選任について ※勝間田博文議員 除斥
承認	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度御殿場市一般会計補正予算（第7号）について）
選挙	御殿場市・小山町広域行政組合議会の議員の選挙について
	議長の選挙について
	副議長の選挙について
	駿東地区交通災害共済組合議会議員の選挙について

3月定例会で採択された

## 「普通交付税不交付団体における財源充実にに関する意見書」を提出しました

▶▶ [提出先] 衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／総務大臣  
財務大臣／地方創生担当大臣

- 1 国の政策による全国一律の事業の財源を普通交付税ではなく、直接的な補助金等で措置すること。
- 2 特別交付税額の算定における普通交付税の財源超過額の減額や国庫補助金の補助率の割落しを廃止すること。
- 3 法人住民税を地方公共団体間の税源偏在是正の財源とする仕組みを見直し、地方公共団体の努力が報われる制度を検討すること。
- 4 所得税や消費税等の見直しによる地方公共団体の歳入減少を、国が直接的かつ恒久的に補填すること。

これにより、地方公共団体が安定した財政の下で自立した行政運営を実現できるよう求める。

## 意見書

意見書全文はこちらからご覧ください。



# 行政視察報告

特別委員会 1月21日

視察先：千葉県酒々井町

本市では昨今、さまざまな選挙での投票率の低下が危惧されており「主権者教育」の必要性も痛感していた。酒々井町では、小・中学生を対象として自分達が住む町の歴史を知ることから始まり、最終的には住みやすい町への提言まで一貫した教育プログラム「酒々井学」が構築されていた。酒々井学を実践した年代では選挙の投票率に顕著な変化が見られ、今後の参考として非常に有意義であった。

議会改革特別委員長

勝間田 博文



12月12日 総務委員会



議会報告会

## 持続可能な 住み続けられる まちづくり ～人が集い つながる 御殿場市の未来事業～ テーマ



SDGs 未来都市推進協議会の委員の皆さまを対象に、本市のプロジェクト「富士山木のおもちゃ美術館」、(仮称)富士山の恵み産業パーク「関連した行政視察について基調報告をした後、3グループに分かれ活発な意見交換を行った。

富士山木のおもちゃ美術館では、お年寄りには語り部としてのイベント参加など市民を巻き込んだ運営。

(仮称)富士山の恵み産業パークでは、地元農産物「ごてんばこしひかり」の付加価値おにぎりなど「御殿場」の名称を生かした商品への地元生産者・企業の参加。

以上の提案を市長に提言した。

総務委員長 (報告会時)

神野 義孝

12月19日 福祉文教委員会



議会報告会

## 御殿場らしい生涯教育 ～誰もが学び続けられるまちの実現～ テーマ



社会教育委員・文化協会・地域学校協働活動推進委員・コミュニティスクールディレクター・各地域の社会教育担当職員とのグループワークを通じ、率直な意見交換を行った。本市の強みである公民館や学校、文化・スポーツ施設などの基盤整備と市民活動の活発さを改めて確認するとともに、対象世代の偏りや就労世代の参加の難しさ、情報発信の不足、拠点の偏在や移動手段の課題が明らかとなった。さらに、地域と学校が連携し、子どもを起点に学びを広げていく重要性についても認識を深め、コミュニティスクールの認知向上や連携強化の必要性も共有した。今後の委員会活動に生かし、誰もが学び続けられる環境づくりを着実に推進していく。

福祉文教委員長 (報告会時)

小林 恵美子

12月8日 経済環境委員会



議会報告会

## 中心市街地における経済活性化及び 創業支援について テーマ



「地域経済の活性化について」をテーマに実施した行政視察について基調報告をした後、3グループに分かれ意見交換を行った。

Aグループは「動き出せる空間」をテーマとし、行政は明確な未来へのビジョンを打ち出す必要がある、との意見であった。

Bグループは「熱意をカタチに」をテーマとし、支援体制が不明確で、どのようなにぎわいを目指すのかというビジョンが共有されていないとの意見であった。

Cグループは「寄り添う支援」をテーマとし、本市は令和8年度から立地適正計画が始動するので、本市のビジョンを明確に示すことが必要である、との意見が出された。

これらの意見をまとめ、委員会として提言書を作成し市に提出した。

経済環境委員長 (報告会時)

田代 耕一

代表質問

一般質問

定例会

臨時会

視察報告

議会報告会

提言

# 提

# 言

各委員会の提言を紹介します。各二次元コードから提言書をご覧になれます。

## 総務委員会 1月29日

### 総務委員会議会報告会に伴う検討の申入れ

#### 1 富士山木のおもちゃ美術館

- ・持続可能な施設運営をする。
- ・市民に愛され、利用される施設にする。
- ・木育を普及する。



#### 2 (仮称) 富士山の恵み産業パーク

- ・持続可能な施設にする。
- ・人が集い、つながる施設にする。
- ・市民に愛され、利用される施設にする。

提言書はこちら



## 福祉文教委員会 1月26日

### 御殿場らしい生涯教育・生涯学習の推進に向けて～誰もが学び続けられるまちの実現を目指して～

- ・いつでも・どこでも・誰でも学べる生涯学習環境の整備
- ・働く世代・子育て世代への学びの支援強化
- ・広報・情報発信戦略の見直し
- ・御殿場らしい文化・生涯教育の推進
- ・総合拠点エリア構想と移動格差の是正
- ・コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動を核とした生涯学習の推進



提言書はこちら



## 経済環境委員会 1月15日

### 中心市街地における経済活性化と創業支援について

- ・中心市街地への来街促進と回遊性向上に向けた環境整備
- ・インバウンド対応を含む分かりやすい情報発信と案内機能の強化
- ・若者・高齢者の居場所づくりを通じた持続的な賑わいの創出
- ・挑戦する人材を継続的に支える仕組みづくりと安全な街の確保



提言書はこちら



## 6月 定例会の予定

6/4～6/15 (12日間)  
時間はいずれも午前10時～

4 (木)	議案審議・採決
11 (木)	一般質問
12 (金)	一般質問
15 (月)	一般質問・議案審議・採決

いずれの日も傍聴することができます。

当日、市役所東館3階の議会事務局で受け付けをしております。

傍聴託児サービスも実施しておりますので、ご利用の場合は、傍聴希望日7日前までにお申し込みください。



Exchange Program



大学生との交流事業

2/7

未来議会プロジェクト事業の一貫として、明治大学の学生45人と、御殿場市議会議員との交流事業を実施した。御殿場市議会の説明と大学生による「多文化共生政策を事例に」について研究発表が行われた。その後4グループに分かれ、「若者が政治についてどう考えているのか」について意見交換が行われた。国政の動向や身近な議員の役割に関する質疑、自分たちを取り巻く環境と政治との関係などについて活発な議論が交わされた。



議長日記



全議員連名の「普通交付税不交付団体における財源充実に関する意見書」を3月定例会で可決、国へ提出しました。現役世代の議長としてスピード感と実行力で議会改革を進め、地域の現場や施設も回りながら、市民の皆さまにとって、より議会を身近にする広報活動にも率先して取り組んでまいります。これからも共に歩んでいただければ幸いです。

第75代 御殿場市議会議長  
川上 秀範

編集後記



本号も市議会だよりをご覧いただき、誠にありがとうございます。委員長として、市議会の活動や取り組みを市民の皆さまに分かりやすくお伝えすることを第一に、紙面づくりに取り組んでまいりました。議会での議論の内容やその背景を丁寧に発信することで、「開かれた議会」を目指すとともに、市民の皆さまとの距離や壁を少しでも縮めていきたいと考えております。今後も率直なご意見をいただきながら新委員一同、より身近で信頼される議会広報に努めてまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いたします。

広報委員長 横山 大

御殿場市議会広報委員会

- 〈委員長〉横山 大
- 〈副委員長〉小林 恵美子
- 高木 理文／森 順
- 永井 誠一／後藤 真弥
- 小林 昌美／辻川 公子
- 池谷 晴一／林 義浩

